

令和4年度 第2回タウンミーティング

和佐谷町会とのタウンミーティング

日 時 令和4年5月24日(火) 19時00分～20時00分
場 所 和佐谷町公民館
参加人数 7人

1) 和佐谷町 町会長 挨拶

- ・単独でのタウンミーティングは3年ぶりとなる。皆さんにいろいろな意見を言っていたきたいと思っている。

2) 市長 挨拶

- ・今日は、能美市の予算のことを主体に、市がどんな方針で、どんなことをやろうとしているか知っていただきたい。

3) 市長 市政報告

◎はじめに

- ・今年のゴールデンウィークの能美市内の状況について、3年ぶりに九谷茶碗まつりが開催され、約7万人にご来場いただいた。いしかわ動物園、手取フィッシュランドへと大勢の方が能美市にお越しになられた。
- ・いつまでもブレーキを踏んでいたのでは経済も回っていかないし、心が病んでしまう。感染症対策を取ったうえでいろいろとイベントや行事をやっていききたい。

◎能美市を取り巻く情勢と課題

- ・人口減少、少子高齢化、社会インフラの老朽化、災害、事件、事故、そして最近では新型コロナウイルス感染症など様々な課題がある。
- ・人口減少、少子高齢化になると社会福祉費の増大、地域コミュニティの希薄化、空き家空き地の増加などの問題が出てくる。
- ・社会インフラについては、公共施設や学校が古くなっているほか、道路、橋梁、上下水道管、案内看板も古くなっている。
- ・これらを解決していくためには、ヒト・モノ・カネが必要であり、これをどうやって生み出していくかということに取り組んでいる。自治体の勢いを示す指標として、一番わかりやすいのが、人口を増やすことだと考えていて、能美市ではすべての施策、事業が移住・定住の促進につながるように取り組んでいる。

◎新型コロナウイルス感染症の対策

- ・昨年と今年で感染する年代が高齢者から 10 代～30 代に変わってきている。ワクチンの接種率は若年層が低く、そういった状況が今の感染状況を生んでいると予想している。
- ・今後のスケジュールとして、現在 4 回目接種の準備を進めている。希望される方は早めに打っていただければと思う。

◎戦略的企業誘致の推進

- ・企業誘致が好調で、今後見込まれる雇用人数が 1000 人である。宅地を造成し、能美市に移り住んでもらう人を増やし、人材を確保していきたい。

◎施策と事業の紹介

- ・施策、事業は 7 本柱からなっている

【子育て・住環境の充実】

(のみバス)

のみバス GO! というアプリで、ダイヤやルートだけでなく、バスの到着時刻や混雑状況がわかるようになっている。また、車両についたカメラを通してどこから何人乗って、どこで何人降りたかを集計し、公共交通をより利便性が高いものにしていこうとしている。

(里山イノベーション)

地域の方が主体となってこの地域をもっと良くしようという取り組みを、行政も一緒にサポートしていく。

(Web 健康手帳)

生まれたときから高校に行くまでに、いろいろな予防接種をしたり、病気をしたりしている。その情報をアナログからデータにし、一気通貫で管理することを行っている。

(電子図書館)

感染症対策の一つでもあり、スマホなどで読みたい本のデータを入手できるようにしていく。

【産業振興・企業誘致・人材確保】

(能美の取り柄)

能美市内の企業を PR しているサイトであり、その中で会社のことや働きがいなどを PR し人材確保に繋げていこうという取り組みをしている。

(農村 DX)

農業は人手不足ということで、農業のデジタル化を推し進めようということで取り組みをしている。その取り組みが皆さんに伝わるようにビデオを制作した。多くの労力を使って行っている作業をデジタルの技術を使って便利にし、担い手を育成しようとしている。

【交流人口の拡大】

(トレイル・ランニングフィールド)

仏大寺町にある遣水観音山が今トレイルランニングの聖地になっており、そこを整備していく。また、揚原山付近でも自転車スポーツを行う方が多くいらっしゃっているということも聞いており、新たなスポーツを後押しする取り組みも始めている。

【教育力の向上《学校教育》】

(GIGA スクール、電子黒板)

市内の小中学校では全員がタブレットを持って授業をしており、電子黒板も導入している。

(レガシープロジェクト)

東京オリンピックで使われた表彰台を全国の自治体に配る事業で、能美市ではフルセットでいただいた。学習センターにおいてあるが、和佐谷町でも希望される場合はお貸しできる。

【教育力の向上《文化・スポーツ振興》】

(いしかわ百万石文化祭)

天皇皇后両陛下が来られる一大イベントが来年開催される。今年はプレ大会として、いろいろやっていこうとしている。ぜひ皆様方にも参加していただけるように思っているので、ご意見があれば教えてほしい。

【安全安心のまちづくり《防減災・治安・交通》】

(危機管理 DX)

防災行政無線の多重化として、放送内容をメールで流したり、固定電話で確認できるようにしたりする。また、屋外スピーカーを鮮明に音が流れるよう変えていく。

(地域防災サポート)

避難訓練をやりたい、あるいは防災計画、避難計画を作りたいという場合に、市でサポートする体制を整えている。

(鳥獣被害)

狩猟免許の免許を取りやすいように費用の一部を補助する制度を設けている。

(協働型施設管理)

どこか壊れた箇所や不具合を見つけた場合、電話で連絡してもらっていたが、写真に撮って送ってもらうようにすることで、状況が一目でわかり、より早く対応できるようになる。

【安全安心のまちづくり《共生社会》】

(医療介護 DX)

一人暮らしの人が多くなっているが、救急搬送されたときに、服用している薬や過去にかかった病気などを救急隊に伝えられないということで、そういった情報をデータで管理していく。将来的には病院に行く回数を少なくしたり、自宅でも診療を受けたりできるようにしていこうと取り組んでいる。

【シティプロモーション】

(ふるさと愛の醸成)

子どもたちに自分たちが住んでいるところに誇りを持ってもらえるよう、ビデオを作り成人式や立志式で流す取り組みをしている。

【行財政改革】

(官製談合事件)

皆様方に大変不愉快な思いとご迷惑をおかけした。二度と起きないように取り組みをしている。

(観光看板整備)

市内に市が管理する看板が 2500 あるが、表示が古かったり、看板が古くなったりしているので、順次見直しをしている。また、道の駅「しらやまさん」にある看板も新しいものに変えていく取り組みを始めている。

【その他】

(和佐谷町の人口)

残念ながら人口は減っている。人口を増やしていきたい。

(森林環境贈与税活用)

南加賀エリアで森林環境贈与税を使った森林の管理が一番進んでいるのは和佐谷町であり、モデルケースといわれている。これを多くの地域に広めていきたいと思っている。

(防災倉庫)

議会の承認を得て設置させていただく予定である。

(議会中継)

中継が見れないというご意見ご要望をいただいていたが、6月から YouTube で見られるようになる。

(揚原山)

頂上に上るところが傷んでいたのを直した。

(公民館)

和佐谷町の公民館も新しくしたいという思いがある。ただ町の皆さんにも負担いただく必要があるので、その負担額を抑えて、皆さんが集える場所を作りたいと思っている。

(手取川河川敷)

何か活用できないかという要望をいただいている。いろいろと制約があるが、何かできるか考えていきたい。

(消火・救急搬送)

白山市長と話をしながら、少しでも前進できるよう進めている。新たな取り組みができるようになったらご連絡させていただきたい。

(道の駅)

場所は能美市だが、管理が白山市という複雑な場所ではあるが、何か活用できないか、利用者が増えるようにできないかを考えていきたい。

(最後に)

今年の寅年は壬の寅という、厳しい冬を乗り越えると素敵な春が待っているという年である。皆様にも良いことがあるように、少しでも前に進んでいけるように我々も一生懸命していきたいと思うので、ご要望や課題があればお聞かせ願いたい。ご清聴ありがとうございました。

4) 質疑応答

(参加者)

冬場の雪除けの水について、困っている。場所によっては用水に側溝がないところもあるので、課題として考えていただきたい。

(市長)

課題の一つとして考えていきたい。

(参加者)

河川敷の利用の仕方について、もったいないので何か活用できないか。

(市長)

河川敷ということでいろいろな制約があるが、気にかけている。

(参加者)

道の駅の活用について、何か活用できないか。

(市長)

知恵を絞っていきたい。